

一般社団法人日本ウッドデザイン協会 ビジネスマッチング部会  
第8回マッチングイベント 中国開催編 報告書

= 広島ツアー 2023年2月27日(月)～28日(火) =

2月27日(月) 東広島市・呉市・広島市

1. 道の駅 西城のん太の酒蔵:ランチミーティング

2022年7月にオープンした東広島市の施設。設計施工は長谷川体育施設株式会社ほか。鉄骨造平屋建の建物では、東広島市の名産品販売、レストランのほか、大型木製遊具を設置した屋内遊戯施設「こどもひろば」が話題となっている。こどもひろばは、エントランスから内部まで、木をふんだんに使い、大型木製遊具以外にも、ままごと用キッチンなど、木育・知育用に、木のおもちゃが置かれた木製おもちゃコーナーがある。

<参考サイト> <https://www.nonta-sakagura.com/floorguide>



外観



レストラン



景観 ネズミサシなどの自然林

2. 中国木材株式会社 本社:国産材の取組に関する堀川会長によるレクチャー  
堀川智子会長によるプレゼンテーション。国産材の安定供給を目指してきたパイオニア企業として、日向モデルと言われる宮崎県日向工場や、最新の秋田県能代工場などを紹介。日向モデルは、安定供給を目的に大量の原木在庫を常時保有すること、山から丸太を購入する際、径の指定をせずに全ての木を丸ごと購入すること、製材や集成材の広大な保管場所を持つことなど、大手住宅メーカーが国産材採用を躊躇してきた、安定供給が難しかった国産材の課題を解決する、中国木材によるモデルケース。

<参考サイト> <https://sdgs.ncbank.co.jp/project/62>



本社会議室



堀川会長による国産材の取組に関するレクチャー



本社屋上より呉市の景観

### 3. 中国木材株式会社 本社工場:日本最大の製材工場

日本最大の製材工場。北米からバイマツ丸太を大型原木船で輸送し、工場内の自社岸壁に接岸、大量の原木を月に5隻のペースで搬入している。生産量は日本国内の構造用バイマツ無垢材による梁・桁の95%。全国の木造軸組工法住宅の3軒に1軒が、中国木材のバイマツ無垢材を使用していることになる。乾燥へのこだわりが強みでもあり、広大な敷地内に丸太土場から製材・天然乾燥の土場、人工乾燥炉を有する。原木や製材の在庫置き場確保、トラックによる搬送システム効率化のため、事務所棟や工場棟の屋上を駐車場として使用しているのも特徴的。

<参考サイト> <http://www.chugokumokuzai.co.jp/home.html>



丸太埠頭と丸太土場



ラミナの人口乾燥炉と天然乾燥場



製材棟

4. 中国木材株式会社 郷原工場:ハイブリット集成材の製造と最新のバイオマス発電所  
製材、乾燥、加工、集成材製造、バイオマス発電などを視察。製造する集成材は、通常のラミナ  
ビームのほか、国産の杉を中間材に使用するハイブリットビームがある。ハイブリットビームは、  
杉単体の E60 に対し E105のヤング率を確保し、国産材利用への貢献とコスト削減を実現す  
ることができる。木質バイオマス発電は最新のものが竣工。まだ本稼働を始めたばかり。  
本社工場の既存木質バイオマス発電との違いなどをレクチャー。

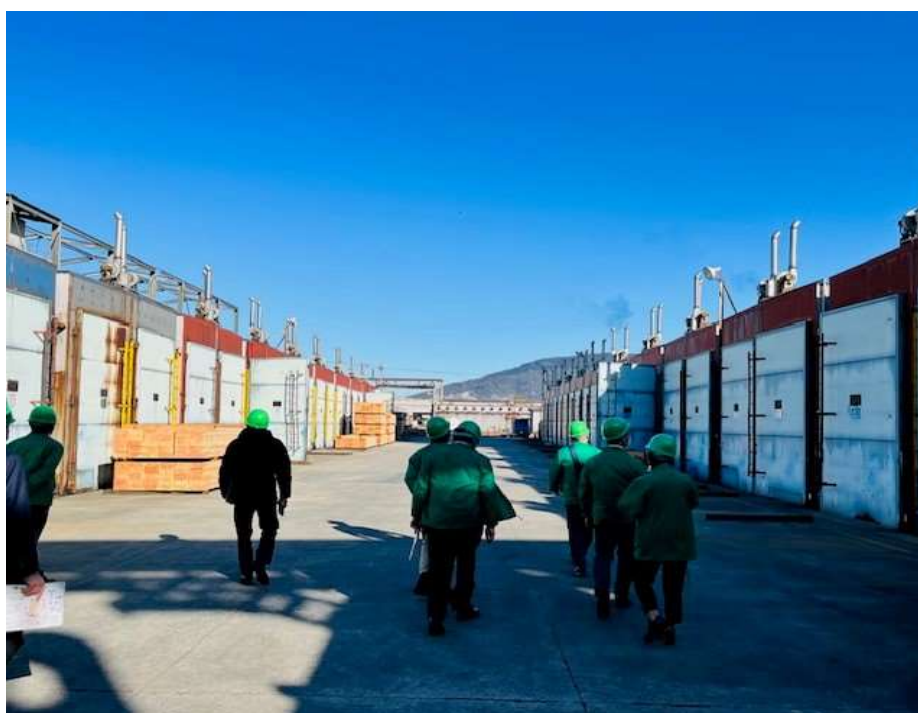
<参考サイト>

<http://www.chugokumokuzai.co.jp/company/company5/gouharatizu.html>



新型バイオマス発電設備

燃料保管庫



## 5. おりづるタワー:オフィスビルの木質建築改修

2016年に改修工事が竣工した広島市内中心部の13階建オフィスビル。設計は三分一博志建築設計、施工はフジタ・増岡組JV。内外部に国産木材を使用した改修で、13階の展望室が、2019年の全木連主催、木材利用優良施設コンクールにおける国土交通大臣賞を受賞。都市部における鉄骨鉄筋コンクリート造の既存オフィスに、効果的に木材を利用したことが評価された。展望室には窓ガラスがなく、メッシュのみで仕切られた外部と同一環境となっている。床は熱処理したヒノキ材、天井は不燃処理したスギ材、何れも中本造林の建材が使われている。ウッドデッキの展望スペースには常に微風が流れ、テイクアウト専用のカフェで買った飲み物片手に寛げる、市民の憩いの場となっている。

<参考サイト> <https://www.orizurutower.jp/about/facility/>



最上階展望室からの景観

展望室 広島の高

2月28日(火) 廿日市市

## 8. 中本造林株式会社 本社工場:林業経営・内外装材製造・販売

1959年、造林会社として設立。1975年に製材工場が稼働開始。1978年から縁甲板の製造販売。広島県内外に2000haの山林を所有し、植林から育林、伐採、製材、乾燥、加工、販売までを一気通貫で行うエクセレントカンパニー。ウッドワンとは兄弟会社となる。製造・販売する製品は、本社工場で丸太から生産する様々な仕上げの焼杉外装材、杉ムクフローリング、檜ムクフローリングなど。森林経営から製品製造・販売までのサイクルは、PEFC、SGECのFM認証を取得している。今回は造林部からのプレゼン、製造部のアテンドによる本社工場の視察を実施。

<参考サイト> <https://www.nakamotozourin.co.jp/company/>



造林部プレゼン



杉板天然乾燥場

### 9. 宮島フェリーターミナル:木質建築物

木質建築。天井、壁に広島県産の木材を使用。中本造林の杉板も使われている。



フェリーターミナル 中央通路



埠頭エントランス



フェリーふ頭

## 11. 世界遺産 国宝 厳島神社:伝統的木造建築物

1430年前、推古天皇即位の年に最初の社殿が建てられたと伝えられている。神殿造りを取り入れた社殿を、1168年に平清盛が修造。火災や土砂災害などにより度々消失、現在の本社殿は、450年前に毛利元就が再建したもの。本社殿の他、拝殿、東西の回廊など6棟が国宝に指定されている。日本一の規模となる神殿造りの建築物であり、その景観は松島、天の橋立、安芸の宮島を日本三景と呼ぶことで有名。1996年、ユネスコの世界文化遺産に登録されている。

<参考サイト> <http://www.itsukushimajinja.jp/index.html>



国宝の本殿と回廊



改修後の大鳥居

以上